

し ょ う わ



今月の表紙 2024.9.20

秋の全国交通安全運動

9月21日から30日までの10日間、秋の全国交通安全運動が実施されるのにあわせて、9月20日に昭和小学校の鼓笛隊によるパレードが行われる予定でしたが、今年はいにくの雨で、体育館の中での演奏となりました。

小学校6年生は、今回が広く一般に披露する最後の機会となるため、多くの保護者も体育館に駆けつけました。

百歳賀寿贈呈式

船木ハツミさん（小野川）が9月1日で満百歳の誕生日を迎え、ご家族が同席のもと、百歳高齢者賀寿贈呈式が、同日ご自宅で行われました。

贈呈式では、福島県・昭和村・村老人クラブ連合会・村社会福祉協議会から賀寿や記念品、家族から花束が贈られました。長寿の秘訣は、「物事を前向きにとらえること。愚痴をこぼさないこと。」と教えていただきました。おめでとございます。



本名律子さん（小中津川）が9月5日で満百歳の誕生日を迎え、ご家族が同席のもと、百歳高齢者賀寿贈呈式が、同日昭和ホームで行われました。

贈呈式では、福島県・昭和村・村老人クラブ連合会・中央第一老人クラブ・村社会福祉協議会・昭和ホームから、賀寿や記念品、花束などが贈られました。長寿の秘訣は、「一生懸命働くこと。声を出すこと。よく食べること。」と教えていただきました。おめでとございます。



旭日単光章受賞

9月13日、村長室において、渡辺武清さん（小野川）に本田会津地方振興局長より、叙勲（旭日単光章）が伝達されました。

昭和村議会議員として通算3期12年の永きにわたり在職され、その間、昭和村議会副議長を務められました。また、昭和村教育委員会委員、昭和村社会教育委員としての活動、さらに消防団員としての活動などにも尽力されました。この度の受賞誠におめでとうございます。



9月13日、村長室において、酒井盛男さん（下中津川）に本田会津地方振興局長より、叙勲（旭日単光章）が伝達されました。

昭和村議会議員として通算6期24年の永きにわたり在職され、その間、総務厚生文教常任委員会委員長を歴任され議会運営に力を注がれました。また、昭和村農業委員会委員としての活動、さらに消防団員としての活動などにも尽力されました。この度の受賞誠におめでとうございます。



令和6年度 昭和村敬老会

9月14日、昭和村公民館において昭和村敬老会が開催され、約百十名が参加されました。新たに70歳を迎える方を代表して本名敏弥さん（下中津川）に敬老記念品が贈呈されました。なお、「しあわせ金婚夫婦表彰」を受賞された方々は次のとおりです。

五十嵐寅男様・ノブイ様（大芦）
星三男様・絹子様（大芦）
アトラクションでは、わらべの会によるコーラスと、講師である神田織音さんによる「柳田格之進」（講談）が披露されました。





菅家博昭さん 宿根カスミソウ最高賞受賞

第50回福島県花き品評会が開催され、県内の花き生産者が切り花や枝物など2000点を出品して市場関係者らが色、形状、全体のバランスなどを審査しました。

本村の生産者からは宿根カスミソウなどが出品され、菅家博昭さんが出品した宿根カスミソウ（銀河ウェイ）が金賞として最高賞の農林水産大臣賞に選ばれました。

他にも本村の生産者からは銀賞、銅賞の受賞者があり、宿根カスミソウをはじめとした高品質の多種多様な花き生産技術が評価されました。



受賞された菅家博昭さんは、「かすみ草栽培地を、7年間、草花類を露地栽培して、またその畑に、改めて、かすみ草を植えることとしました。銀河ウェイという品種です。昨年まで生産者は多くいたのですが、今年は私一人です。かすみ草を栽培すると生育が良く、立派なかすみ草が出来ました。91歳の父は、40年栽培のなかでいちばんの出来だ、と言っています。休作・輪作が重要だと気づきました。」と語っています。

耳と空気を感じる



8月24日、三島町交流センター山びこにおいて奥会津7町村文化施設間連携事業 関連企画「奥会津のむかし話〜冬〜」が開催され、各町村から10名の語りべが様々な語りを披露しました。

昭和村からは栗城ナミ子さんが出演し、「火種むかし」を語りました。100名を超える聴衆が静かに耳を傾け、優しい語りに情景を思い浮かべながら物語を楽しみました。



農産物直売会 草加市で開催

9月7日、姉妹都市である埼玉県草加市の草加マルイにて、お米や農産物のPRを目的として、農業委員会主催で農産物の直売を行いました。また、販売前日には草加市役所を訪問し、文化観光課、教育委員会へ本村産米のPRを行いました。

施設のオープン前には、高い気温にも関わらず外で順番待ちの列がなされるなど本村農産物の人気を確認でき、販売開始後はお米や夏野菜各種が売り切れとなるなど好評でした。



Nコン県大会 銀賞受賞

9月10日、福島市ふくしん夢の音楽堂で、NHK学校音楽コンクール県大会が開催され、昭和中学校は金山中学校との合同チームで出場しました。生徒達の緊張が伝わるステージでしたが、積み上げてきた練習の成果を大舞台で発揮し、堂々と歌声を響かせることで、見事銀賞を受賞しました。ご支援及びご声援ありがとうございました。

三町村陸上記録会

9月11日、金山小学校で両沼西部三町村小学校体育交流会陸上記録会が開催され、小学5・6年生が出場しました。

子ども達は、練習の成果を十分に発揮し、競技や他校の児童との交流を通して達成感や満足感を十分に味わうことができました。



博物館で中学生が 地機織体験

9月11日・12日、からむし工芸博物館ロビーにおいて、中学3年生が、地機織りと糸づくりを体験しました。

実際に機に上がった生徒たちが地機を織ることによって、機織りの楽しさと苦勞をとおして村の文化を知っていただく良い機会となりました。



道の駅10周年&博士トンネル開通1周年

9月15日、道の駅からむし織の里しようわにおいて、道の駅からむし織の里しようわ10周年感謝祭&博士トンネル開通1周年記念イベントが行われました。

からむし工芸博物館において、村内では初公開となる「水の環」「みちの環」の特別上映会が行われ、会場では、オープニングのチンドン屋から始まり、盆踊りのやぐらを中心とした村内外の店がイベントを盛り上げました。

残念ながら、午後から雨が降り出し、盆踊りは中止となりましたが、他のステージイベントは織姫交流館の中で行われ、出演者やアーティストのパフォーマンスが至近距離で見られる特別なステージとなりました。



浅野撚糸×からむし コラボミニタオル

(株)奥会津昭和村振興公社は、福島民報社が主催する「第9回ふくしま産業賞」の福島民報社奨励賞を受賞し、その際に知事賞を受賞した双葉町の浅野撚糸双葉事業所と共同制作した、からむし糸でかすみ草を刺繍したタオル「エアーかおる」が完成しました。

柔らかさ・吸水性・速乾性に優れ、毛羽も落ちにくい、洗えば洗うほど膨らむすごいタオルとのこと。ぜひ、道の駅からむし織の里しようわでお手にとってお試しください。





**県民税完納による
知事感謝状の贈呈**

8月28日、村長室において、個人県民税の完納を讃える知事感謝状が本田会津地方振興局長から副村長へ伝達されました。今後とも地方自治の根幹である納税について村民の皆様にご理解いただき、とともに、引き続き完納に向けて取り組んでいきます。

公民館日誌

○「陶芸教室」 8月23日（少年教室） 8月24日（生涯学習講座）

公民館で、少年教室・生涯学習講座の「陶芸教室」を開催しました。講師に大芦三笑窯の菅野まりさんをお迎えして、成形までの工程を教えてくださいました。

少年教室では、粘土の高さを均等に平らに伸ばす板づくりの手法でお皿を作りました。柄の布を押して模様を入れたり、絵を書き入れたり自由に飾り付けをし、模様や絵が映えるような色選びにも工夫しました。生涯学習講座では、作りたい作品に合わせ、板づくりやろくろを使った玉づくりで形良く成形し、窯出し後の作品の仕上がりイメージしながら釉薬の色とかけ方を決めました。



○千歳学級「奏筆（かなふで）体験教室」 8月27日

公民館で千歳学級「奏筆体験教室」を開催しました。講師に奏筆上級認定講師「奏筆みつや教室」の岡田瑛子さんをお迎えして、『秋』をテーマとした作品制作を行いました。

奏筆の特徴的な文字や絵の描き方、きれいに見える文字と絵のバランスなど、基礎から丁寧に教えていただき、初めてとは思えない完成度の高い味わい深い作品が完成しました。描く人自身の感性を奏でるように筆を踊らせる奏筆の魅力に触れ、楽しく制作できました。

★奏筆（かなふで）の説明と参加者の作品はこちらの QR コードからご覧いただけます。



○少年教室「防災教室～9月1日は防災の日！みんなで防災について学ぼう」 9月1日

会津自然の家で少年教室「防災教室」を開催しました。

午前中は、昔の火おこし器を使った火おこしを体験し、汗だくになり全身で力を入れながらもなかなか付かない火に、現代の道具の便利さを痛感しました。また、電気がない状況を想定した防災炊飯では、薪や杉の葉を使って火をおこし、パスタとソースをそれぞれのポリ袋に入れて鍋で茹でナポリタンを作りました。非常時でも、ポリ袋と身近にある材料で温かく美味しい食事を作る便利な方法を学びました。



午後は、会津自然の家の武田光弘所長さんを講師に、避難所で役立つ防災工作を行い、防寒対策にもなるゴミ袋の服と頑丈な段ボールベッドを作りました。素早くできる方法を工夫して作業を分担し協力して完成させました。1日の活動を通して、楽しく防災について学び体験し、いざという時に自分も行動できる自信ができました。



公民館日誌

○千歳学級「全会津民話祭り鑑賞会」 9月8日

会津若松市文化センターで開催の第16回全会津民話祭りを鑑賞しました。

「これからも永く語り継ぐべ会津のころ」をテーマに、昔より語り継がれてきた民話の数々が心を込めて語られました。方言ならではの心地よい語り口にゆったり耳を傾け懐かしさに浸りました。また、同会場で開催中の第62回諸流いけばな展では、秋の風情を醸し出す美しい季節の花々を鑑賞しました。

○生涯学習講座「英会話教室（前期）」（全5回） 5月～9月 毎月1回

公民館で、5月から9月までの期間、生涯学習講座「英会話教室」を開催しました。講師は、昭和小中学校外国語指導助手のアレクサンドラ先生が務め、初心者向けの内容で教えていただきました。

前期は、自己紹介や家族・友人の紹介、日常の挨拶などを中心に、ビンゴや Name Place Animal Thing ゲーム（与えられた文字で始まる名前、場所、動物、物、植物、色などの単語を考える英単語の言葉遊び）なども取り入れ、楽しく国際交流しながら学びました。

〈受講生募集中〉10月から英会話教室（後期）が始まります。

アレクサンドラ先生と一緒に気軽に楽しく英会話を学びませんか！

詳しいご案内は下記のQRコードをご覧ください。



すみれ荘日誌

○大芦げんきクラブ 8月28日

大芦区長事務所において大芦地区の高齢者を対象とした大芦げんきクラブが開催されました。

先月に引き続き「血圧測定・脚の筋力測定」を行い自分の体の健康を確認し、DVDを見ながら「簡単な体操」、そして「わなげゲーム」を行いました。最後にはお茶を飲みながらゆっくりお話をして、楽しく・健康に活動することができました。

大芦げんきクラブは大芦地区の方ならだれでも参加者できます。毎月活動していますのでお時間が合えば、ぜひ参加してみてください。



○小型家電・衣類・食器類の無料回収 ①6月8日 ②8月3日

6月と8月に2回実施した無料回収イベントでは約1.2トン回収することができました。回収した資源は再利用（リユース）や原料化（リサイクル）し有効活用されます。

次回は10月19日に予定していますので、ごみの排出抑制にご協力ください。



「皆さんの声聞かせてください」事業へのご提案・ご意見を頂戴しましたので、その内容と、村からの回答をお知らせします。

※掲載の都合上、原文を要約させて頂いている部分がございます。



01 昭和の森林を守り ましょう！

60代・男性 村内

【ご提案内容要旨】

昭和村の美しい山々は外から訪れる方々には大きな魅力の一つです。村の大切な景観を守る必要性を感じております。

当初は家の正面の山に枯れ木（杉と思われる）が一本有りましたが、あつという間に山の5分の1くらい枯れて来ました。昭和村全体の山々が枯れ木になりそうな勢いを心配しております。

原因は虫の食害？ウィルス？

村として、何か対策はされているのでしょうか？

昭和村伐採隊、感染防止治療部隊など立ち上げて被害拡大を進行させない行動を起こすべきです。昭和村を愛する者として応援致します。

【回答】

現在、村内で広がっている山林の樹木の枯死は、主としてナラ類の樹木にカシノナガキクイムシが侵入、繁殖することによるものです。

これは全国的に広がっている現象で、特に近年は標高の高い奥会津地方にも広がりを見せています。利用管理されなくなつてしまった里山が人家付近まで迫り、薪炭材として利用してきたナラ林などの広葉樹林の多い本村では赤く枯れた樹木が大変目立ち景観を損ねていることは心苦しい限りです。

村としましては、広大な面積の山林で抜本的な対策を実施することは困難であり、農道、村道沿いの枯死したナラの倒木を防ぐための事前伐採や景勝地のナラ枯れ防止対策などに取り組んでおり

ます。また、村内の森林の大部分を占める国有林を管理する林野庁では薬剤による防除や伐採による対策が実施されております。

引き続き、林野庁や県、周辺自治体、私有林所有者等と連携しながら有効な対策方法を模索してまいります。

この度は、ご提案ありがとうございました。

ご提案・ご提言は、役場に備え付けの提案用紙または村ホームページから行えますので、お気軽にご意見をお寄せ下さい。

専用フォーム



ふるさと納税 ーご寄附いただいた皆様ありがとうございますー

令和6年8月1日 ～ 令和6年8月31日まで

【寄附件数】 4件 【寄附金額】 7万5千円



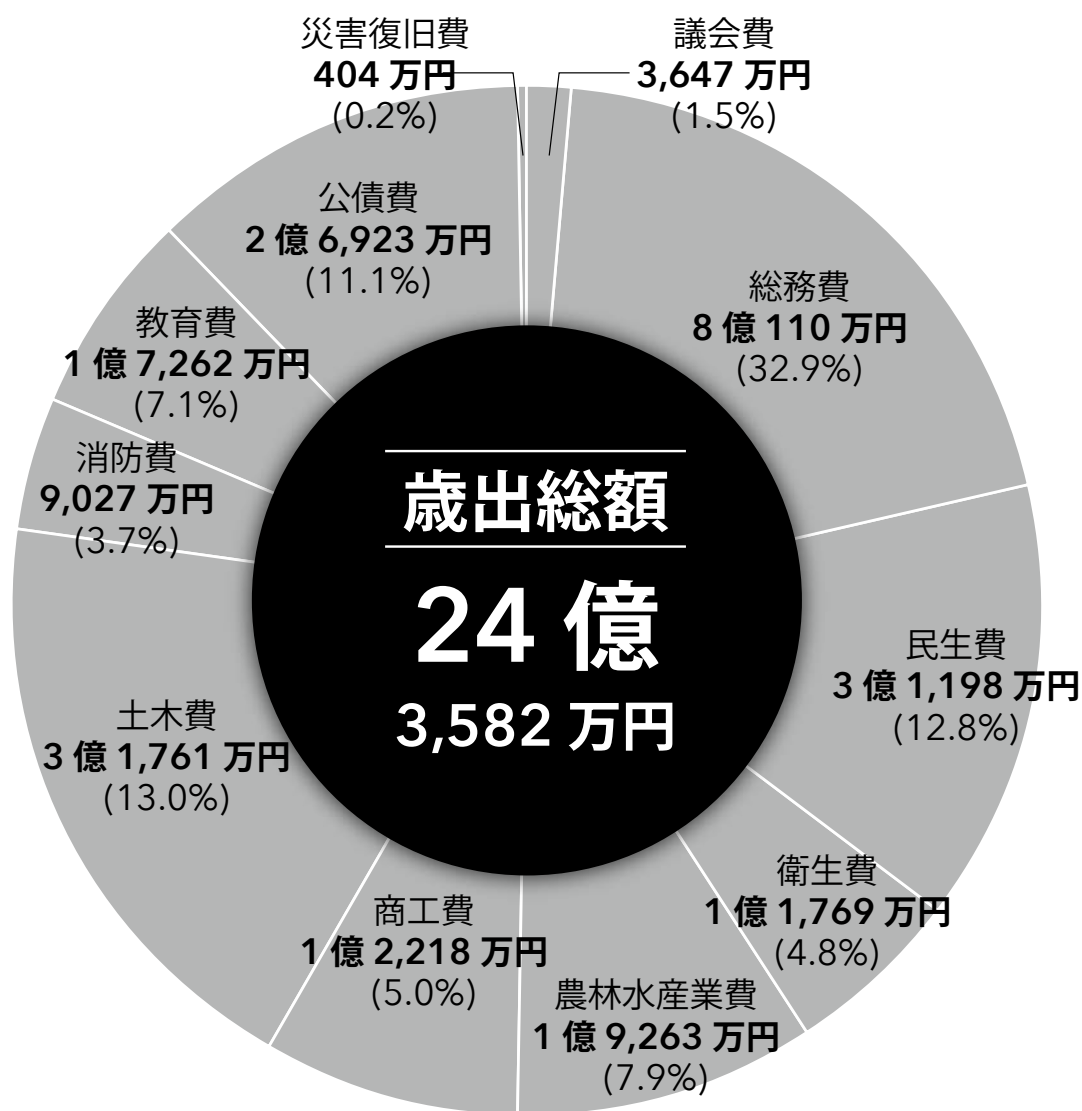
※寄附申込書において氏名公表可とされた方のみ掲載しております。

ご寄附は地域の活性化事業や保健・医療・福祉の充実等村の抱える課題解決に活用させていただきます。

9月に行われた議会定例会において令和5年度の決算が認定されました。

一般会計の決算額は、歳入総額 26 億 4,254 万円、歳出総額 24 億 3,582 万円で、前年度と比較して、歳入は 9.3% の増、歳出は 7.6% の増となっています。税金および国からの交付金などがどのように使われたのか、その概要をお知らせします。

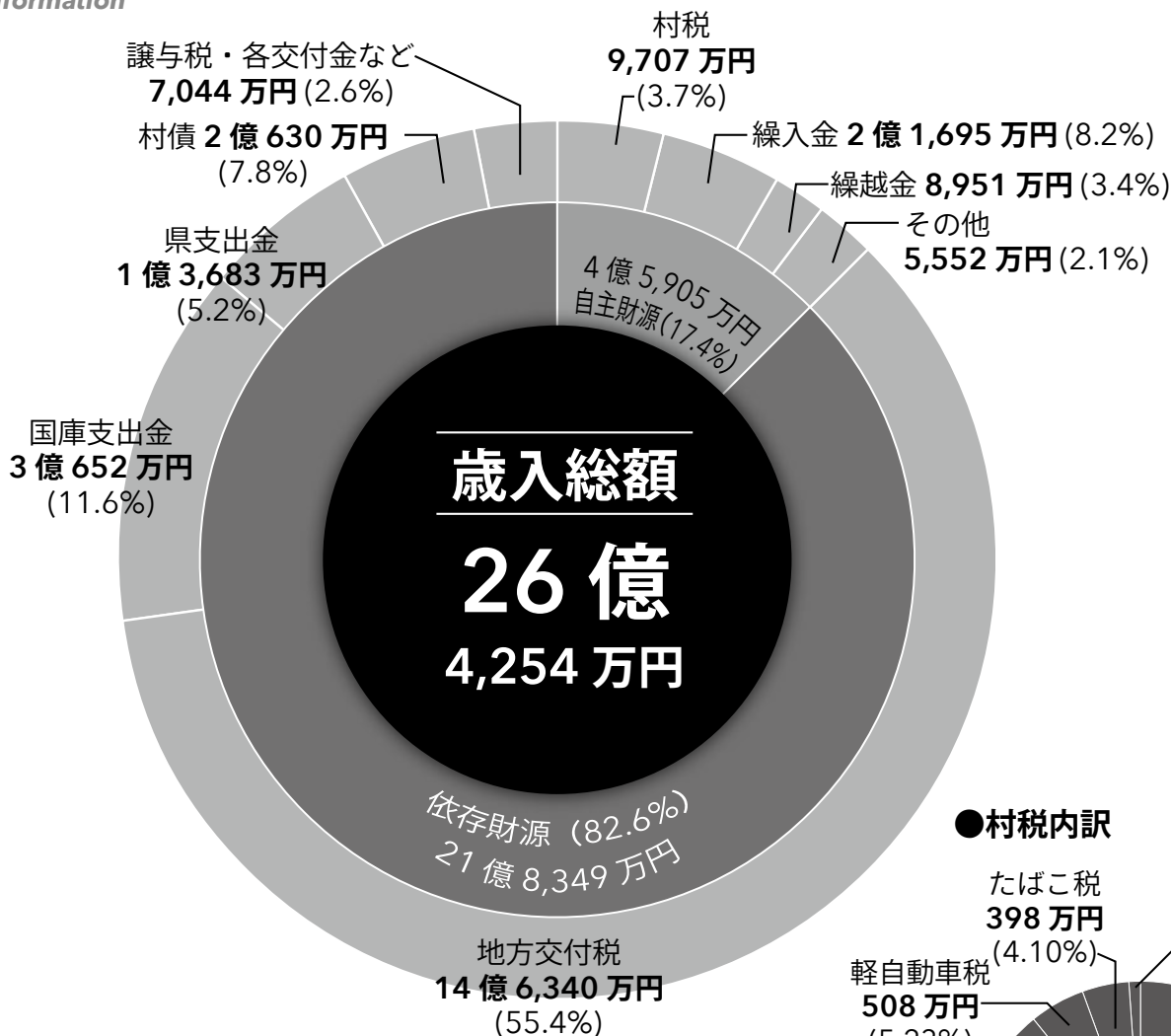
令和5年度 決算 報告



●特別会計・公営企業会計決算表

(万円)

会計名		歳入	歳出	差引残高
国民健康保険特別会計	事業勘定	2 億 2,053	2 億 2,020	33
	施設勘定	1 億 2,779	1 億 1,782	997
後期高齢者医療特別会計		2,573	1,663	910
介護保険特別会計（保険事業勘定）		3 億 5,453	3 億 2,512	2,941
簡易水道事業会計		8,545	9,107	▲ 562
下水道事業会計		1 億 6,437	1 億 5,838	599



村のお金のはなし

億単位の話なので、なかなか想像が付きにくいことと思いますので、村のお金のことを身近に感じてもらいたいと思い、村民一人あたり換算（年度末時点の人口で除算）してみた結果は、以下の通りです。

なお、村の貯金である基金残高と村の借金である村債などの地方債も指標として付け加えています。

●村民一人あたりに使われたお金 2,224,490 円

議会費	33,307	土木費	290,056
総務費	731,595	消防費	82,436
民生費	284,910	教育費	157,641
衛生費	107,479	災害復旧費	3,691
農林水産業費	175,920	公債費	245,877
商工費	111,578	単位：円	

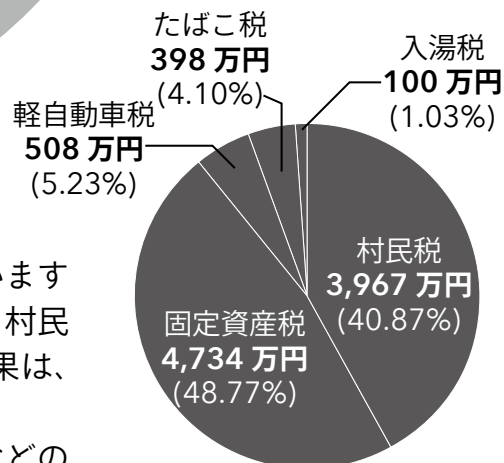
●村民一人あたりの借金 225 万円

●村民一人あたりの貯金 233 万円

村が事業を行う際に起債（借金）をすることがあり、その借金は、長い年数をかけて返済していくことになっています。年度末の残高は、24 億 5,856 万円ですが、その返済については、地方交付税などによって財源保障されています。

一方、貯金とも言える基金の残高は 25 億 4,671 万円です。

●村税内訳



●村民一人あたりの税負担額

88,652 円
(円)

内訳	村民税	36,229
	固定資産税	43,230
	軽自動車税	4,640
	たばこ税	3,637
	入湯税	916

令和5年度
決算
報告

●主な事務事業費

限られた財源を有効活用し、住民生活向上のため、多岐に渡り事業を実施していますが、そのうち各費目ごとの主な支出の内容は、次のとおりです。

総務費 8億110万円

◎ 会津計算センター負担金	4,065 万円
◎ 昭和村南会津町生活バス及び路線バス運行事業	2,309 万円
◎ 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金	843 万円
◎ 物価高騰対応重点支援給付金	1,708 万円
◎ 広報公聴事業	215 万円
◎ 公共インフラ Wi-Fi 整備事業	2 億 108 万円
◎ DX各種(からむしバス・電子図書館・防災無線連携)	1 億 1,376 万円
◎ からむし織体験生・研修生事業	1,139 万円
◎ 未来を描く地域団体応援事業補助金	89 万円

農林水産業費 1億9,263万円

◎ 中山間地域等直接支払交付金	1,753 万円
◎ 多面的機能支払交付金	1,192 万円
◎ 地域営農活性化推進事業	203 万円
◎ 担い手農業者対策支援事業補助金	1,205 万円
◎ 新規農業参入推進事業	4,596 万円
◎ 特産物商品化支援事業	67 万円
◎ 森林環境交付金・贈与税事業	545 万円
◎ 有害鳥獣捕獲事業	312 万円

民生費 3億1,198万円

◎ 昭和福祉会活動事業補助金	2,226 万円
◎ 社会福祉協議会活動事業補助金	497 万円
◎ 放課後児童クラブ運営	436 万円
◎ 物価高騰対応緊急助成金	110 万円
◎ 見守り活動(安否確認)事業委託料	105 万円
◎ 高齢者外出支援事業委託料	32 万円
◎ アクティブシニア活動事業委託料	24 万円

商工費 1億2,218万円

◎ 観光施設管理事業	1,561 万円
◎ 観光 PR 事業	743 万円
◎ 観光協会運営費補助金	950 万円
◎ からむし織の里指定管理料	2,000 万円
◎ 空き家住宅改修援助金	505 万円
◎ 移住定住促進空き家活用事業住宅改修工事	856 万円
◎ 昭和村地域振興券発行事業	260 万円
◎ 昭和村地域振興券発行事業	1,307 万円

衛生費 1億1,769万円

◎ 会津若松地方広域市町村圏 整備組合衛生費負担金	1,038 万円
◎ 廃棄物処理事業	802 万円
◎ 母子保健事業	126 万円
◎ 新型感染症ワクチン接種事業	699 万円
◎ 予防接種事業	426 万円
◎ 保健事業(健康診断)	409 万円

土木費 3億1,761万円

◎ 冬期道路確保事業	9,401 万円
◎ 村道改良事業	3,158 万円
◎ 道路維持補修事業	5,157 万円
◎ 村営住宅管理事業	580 万円

消防費 9,027万円

◎ 消防団員報酬	424 万円
◎ 小型動力ポンプ付積載車購入	523 万円
◎ 会津若松地方広域市町村圏 整備組合負担金	6,378 万円

教育費 1億7,262万円

◎ スクールバス更新	364 万円
◎ 小・中学校複式支援講師等配置事業	1,503 万円
◎ 小・中学校 ICT 教育事業	444 万円
◎ 社会教育事業(講座、芸術文化、文化財)	331 万円

令和6年 9月議会 行政報告

村では、定例議会毎に、各分野の事務事業などの進捗状況などを行行政報告として議会へ報告しています。今回は9月議会における報告のあらましをお知らせします。

●物価高騰などに伴う住民生活への影響緩和

物価高騰対応重点支援給付金の令和5年度均等割りのみ課税世帯分については、7月末から対象世帯に対して支給を開始し、先月末までに支給を完了しました。

また、本年度の物価高騰対応重点支援給付金については、低所得者支援及び定額減税を補足する調整給付として、対象世帯や対象者に対して今月から書類を送付し、年内に支給を完了する予定です。

●広域連携の取組

本年度の日本で最も美しい村連合東北ブロックの総会及び研修会が、7月29日から本村で開催されました。連合に加盟する東北地方の自治体6町村が参加し、からむし引きの体験や喰丸小の視察などを通じて、本村の取り組みや魅力を紹介しました。

また、6月に三島町で開催された工人まつりに3町村が参加し、それぞれの自然や文化、食などの魅力が紹介し、連帯感を深めました。

●持続可能な協創のむら

全ての集落に対しまして集落戦略の策定を推進しているところではあります。未だ一つの集落に留まっている厳しい現状にあります。この状況

を打破するため、昭和村集落支援員2名を採用し、8月21日から活動を開始したところであります。

地域や集落の実情などを把握しながら、実情に沿った活性化策等を推進し、集落の維持・継続や地域の活性化を図るとともに、集落戦略の策定に至っていない集落や地域住民の機運が高まるものと期待しています。

●心地よく暮らせるむら

地域公共交通計画の策定については、7月に公募し、受託者が決定しましたので、年度内の計画策定に向けて事業を進めています。

また、会津若松方面の交通手段の確保に向けた路線調査事業については、9月に予定している1回目の調査に向けて準備を進めています。

●先端的過疎への取組

全村民を対象としたスマホ教室を7月中旬から各集落の区長事務所で開催しました。今後も、全村民を対象としたスマホ教室等を集落ごとに開催するとともに、デジタル技術をより身近に、より親しみを持っていただくような工夫を重ねながら、積極的な推進に努めデジタル活用の普及啓発を図っていきます。

●消防・防災

本年度も地域住民の参加型による防災訓練について計画していましたが、残念ながら全ての集落から実施の要請はありませんでした。このため、新たな取り組みとして、DXを活用した各種情報の登録や避難確認、公共Wi・Fiを活用した大雨

による被害発生を想定した映像や動画による状況確認等について、効果的かつ効率的な災害対応を図る訓練を、今月下旬に実施します。

DXやWi・Fiの電波を有効に活用することにより、的確でスピーディーな判断が求められる地域住民への避難指示を可能にするなど、地域住民の安全安心な生活に結びつくものと考えております。

●農業

■稲作について

稲作については、今年度の米の需要見込みは、高温障害による令和5年産米の不作を受け、在庫不足をおおる報道などにより、買い占めが懸念されています。引き続き、各関係機関と情報の共有や連携を図りながら、今

後の米価の状況について注視していきます。

本年の生育等の状況は、県会津坂下農業普及所によると、出穂時期は若干早めの傾向にあり、草丈が長いほ場が多く、風雨による倒伏が懸念される状況にあるとのこと。昨年同様、気温が高いため、高温障害等による品質の低下が懸念されることから、飽水管理等で地温の上昇を抑制するよう、あぜ道講習会において指導が行われました。

とともに、「カメムシ類」の防除をそれぞれ無人ヘリコプターにより実施しました。

なお、一部の圃場においてヒエ、ホタルイ、クログワイ等の雑草が多い箇所があり、それぞれの生育状況を確認し、必要に応じて個人での薬剤防除を実施していただくよう、あぜ道講習会において周知しました。

■花きについて

宿根カスミソウについては、平年よりは高温傾向ではあるものの、昨年ほど極端な暑さでないため生育は順調であるとのこと。また、昨年とは異なり曇天傾向で日照時間が少なく、一斉開花にはなりにくいため、出荷時期が集中せず、長期安定出荷が可能となり、10月は昨年よりも数量は確保できる見込みである

と聞いております。

販売状況については、昨年同時期実績と比較して、6・4ポイント増加しております。昨年よりも出荷本数及び箱数ともに上回っており、値段も安定しておりますが、台風などの影響による相場の悪化も懸念されますので、関係機関と連携を図りながら的確な状況の把握に努めていきます。

●鳥獣被害対策

今年度も熊やイノシシによる農作物被害が発生しており、防除や捕獲活動を実施しています。特に、人身事故などが発生しないよう引き続き取組を強化していきます。

ス13羽となっております。

8月26日現在の有害鳥獣の捕獲状況については、熊8頭、イノシシ5頭、ニホンジカ5頭、アナグマ等の小動物11頭、カラ

●商工関係

「かすみ草の村地域振興券発行事業」については、村内の35の事業者からご協力をいただき、7月1日より利用が開始されました。物価価格の高騰による日常生活の影響の緩和と村内の地域経済の活性化につながるものと期待しています。

●空き家対策

今年度の移住定住促進空き家活用事業は、小野川大岐地区の住宅で応募がありました。今後は、貸し主の方への説明を行い、工事に向けた準備を進めてまいります。

りました。

●観光交流事業

喰丸小を拠点とした体験型ワークショップ「昭和村ガクチカプロジェクト」を6月30日に開催し、「図画・工作」をテーマとした、奥会津の物づくりや手仕事体験に、約60名の方が参加されました。今後、「音楽」と「歴史」をテーマとしたイベントの実施を計画しています。

「第37回からむし織の里フェア」が、7月20日に開催され、約1,100名の方が来場されました。当日は昨年記念日に登録された「昭和かすみ草の日」でもあり、本村でしか体験できない「からむし織」や「かすみ草」に直接触れられる機会を提供するなど、本村の魅力を発信しました。

草加市内小学校の自然

教室については、7月下旬から8月下旬にかけて、3校、延べ人数254名が来村されました。矢ノ

原湿原散策やキャンプファイヤー、かすみ草の染色、からむし織など、本村でしか経験できない貴重な体験を通し、交流を図りました。村民の皆様には体験活動へのご支援や交通規制にご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。

●工事関係

村道中向小田垣線の新設改良舗装工事及び入間方不動沢線の道路改良舗装工事については、6月28日に工事が完了し、竣功検査を実施しました。

国道401号新鳥居峠工区については、7月22日に村も加盟する国道401号改良整備促進期成同盟会において、地元

選出国会議員や自由民主党、国土交通省への要望活動を行いました。

国道400号舟鼻峠工区については、昭和村側の狭隘区間の改良工事やスノーシェッド延長工事等が進められています。搬入作業による通行止め等、村民の皆様には、大変ご不便をお掛けしておりますが、年間を通じた安全な通行の確保のため、御協力をお願いいたします。

この2つの路線は本村及び奥会津地域にとって大変重要な広域連携道路であるため、早期改良が図られるよう、引き続き、関係機関と連携し、国や県に対し要望活動を継続していきます。

●からむし事業

6月22日から2日間、さいたま市で「会津

ブランドものづくりフェア・イン・さいたま」が開催されました。村からは、からむしコースターづくり体験やからむし織製品、かすみ草の販売等を行い、多くの来場者に興味を持っていただく機会となりました。

また、7月20日の「からむし織の里フェア」において、福島民友新聞社による「第34回みんゆう県民大賞」の表彰式が行われ、本村の「からむし織体験生事業」が30年にわたる地域の特性を生かした活性化の取組であると評価され、同賞の「ふるさと創生賞」を受賞しました。

●福祉事業

災害発生時において特別な支援を要する高齢者などが避難される場合、昭和福祉会の協力が不可

欠であるため、8月20日に社会福祉法人昭和福祉会と福祉避難所の設置運営に関する協定を締結するとともに、新たに昭和ホームを福祉避難所に追加指定しました。

今年6月に成立した「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」により、10月分の児童手当から、支給年齢が15歳から18歳までに延長され、第3子以降の支給額も月額1万5千円から3万円に拡充されることから、支給に向けて準備を進めていきます。

保護者が仕事で不在の間、子どもたちが安全に過ごせる場所を提供し、子育てと仕事を両立できるよう、昭和村放課後児童クラブを小中学校夏休み期間中は午前8時から午後6時まで運営しました。

●保健事業

今年度の総合健診は、8月5日から3日間の日程で実施しました。国民健康保険被保険者などを対象にした特定健診は、294人の対象者のうち128人が受診しており、受診率は43・5%となっています。

9月下旬からは、村内10の会場で健診結果説明会を開催し、生活習慣改善のアドバイスやより健康を保つための個別指導を行うとともに、総合健診を受診できなかった村民に向け、10月下旬より国保診療所において施設健診を実施します。

また、9月4日には、健やかな身体発達の確認や就学期を迎えるための準備を始める契機とするため、今年度から新たに5歳時の乳幼児健診を実

施しました。

●新型コロナウイルス 感染症対策策

今年度のワクチン接種につきましては、65歳以上の高齢者と60〜64歳以下の基礎疾患を有する方を対象に希望調査を行い、10月より国保診療所で個別接種できるよう準備を進めていきます。

●ごみ対策事業

6月8日に、食器類及び衣類を対象に資源収集を行い、8月3日に実施した小型家電の収集と合わせ、およそ1・2トン回収しました。

●教育行政

学校教育につきましては、昭和小学校、昭和中学校共に、8月25日までの夏休みが終わり、2学期が無事にスタートして

います。

児童生徒の学力向上については、6月20日に昭和小学校と昭和中学校の教員合同による1回目の授業研究会を開催したほか、10月には今年度の全国学力・学習状況調査の結果を活用し、今後の学習指導につなげるための分析を行います。

また、今年度は小中9年間を見通した取組として、互見授業やチーム・ティーチング授業を実践し、小中授業連携に努めています。

さらに、学校での児童生徒の様子や授業の様子を、村民に自由に参観してもらうため、自由参観ウィークを6月に開催いたしました。今回は11月に開催しますので、多くの方々に来校してもらうよう工夫をしていきます。昭和小学校では、今年

度、5・6年生の総合的な学習では地域の伝統文化を学んでおり、7月には「大芦ダイモチ引き木遣り」と「両原早乙女踊り」を学習し、地域の人々の暮らしや思いにもふれる貴重な体験をしています。

7月20日のからむし織の里フェアでは、今年も大勢の来場者を前に、堂々とした鼓笛隊の演奏を披露することができました。

また、8月21日の草加市立新栄小学校が自然教室で来村の際には、昭和小学校の4年生から6生までが参加し、小学生同士による姉妹都市交流が行われております。

昭和中学校では、3年生が総合的な学習の集大成として、7月4・5日に「新潟県十日町市博物館」と「東京都大田市場」を訪れ、十日町地区の織物の歴史と昭和村との関

連性について理解を深めるとともに、大田市場では恒例となっているかすみ草のせり前あいさつを行ったり、店頭販売を体験したりして、流通・販売の現場を学びました。

部活動では7月に開催された福島県中学校体育大会県大会に卓球女子団体が出場し、ベスト8まで勝ち進んでいます。

また、8月20日の耶麻両沼小中学校音楽祭には、全校生徒が金山中学校と合同で出場し、優秀賞に輝き、9月10日の県大会出場を勝ち取りました。

社会教育につきましては、昭和村成人式を今年も8月15日に開催し、家族や来賓などが見守る中、お祝いをすることができました。

児童を対象とする少年教室では、普段は体験することのできない溪谷で

の川遊びや星空の観察会など、村の大自然に親しむ企画や、近隣自治体の児童との交流活動を行っています。

社会体育につきましては、7月7日の地域スポーツ両沼大会に家庭バレーボールと壮年ソフトボールの種目に出場し、家庭バレーボールチームは会津大会出場を果たしました。

今年のふくしま駅伝も、本村は7つの町村で構成する希望ふくしまチームに参画し、7月から合同練習が始まっています。

教育関連施設の整備については、昭和村公民館床張替工事は8月23日に竣工し、昭和村教員宿舎新築工事及び昭和小学校外壁補修工事は、それぞれ概ね順調に進捗しております。

「ふくしまポータル」ダウンロードキャンペーン実施中！

福島県が公開している「ふくしまポータル」は、行政手続きや防災アプリなど、様々なサービスが利用できる総合窓口アプリです。県や市町村から、イベント情報や各種支援制度など、生活に役立つ情報を幅広く発信しています。

現在、アプリをダウンロードすると、抽選で宿泊券や県産品等が当たるキャンペーンを実施していますので、この機会に、ぜひダウンロードをお願いします。

○対象者

アプリをダウンロードし、ユーザー登録をされた方（すでに登録されている方も対象）

○応募期間

令和6年8月26日（月）～12月31日（火）

○特典

福島県内宿泊券10,000円分、福島の名産品（200名様）、500円分の「QUOカード Pay」などが抽選で当たります

○応募方法

専用ページ（「ふくしまポータル キャンペーン」と検索）の応募フォームから応募



【お問い合わせ】キャンペーン事務局（福島県デジタル変革課委託） ☎ 024-521-1411

「Out of KidZania in 会津 2024」の参加者を募集します！

地元企業等の様々な仕事を楽しく学べる職業体験イベントの参加者を募集します。

○日時

11月30日（土）～12月1日（日）、午前10時～午後4時（受付／午前9時～）

○会場

アピオスペース（インター西）ほか

○対象

小学1年生～中学3年生

○応募期間

9月27日（金）～10月8日（火）

○申込方法

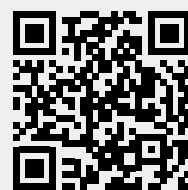
WEBサイトからの事前予約制（抽選）※社会体験プログラムは申込不要

○参加料

500円／1プログラム（当選時にクレジットカード決済にてお支払いください）

○その他

参加料のほかに材料費が必要になるプログラムがあります。材料費は当日、各ブースでお支払いください。



【お問い合わせ】会津地方振興局 企画商工部 メール：info@outofkidzania-aizu.jp

10月1日から7日までは「公証週間」です

公証制度は、公証人が、大切な遺言・契約の公正証書の作成、確定日付の付与、私文書の認証など、国の公証に関する事務を取り扱う制度です。公正証書に書かれている内容は、裁判その他の面で、高い証拠力が与えられます。また、公正証書には「執行力」があり、金銭に関わる契約で相手が約束に反して金銭の支払いをしなかった場合、裁判を経なくても相手の財産に対し強制執行ができます。

遺産相続、任意後見契約、金銭貸借、不動産貸借、離婚に際しての慰謝料、養育費などの問題は、後々にトラブルを引き起こしがちです。そんなとき遺言や当事者間の取り決めを公正証書にしておけば、トラブルを防止し、権利や財産を守ることができます。

相談は無料です。お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ】会津若松公証役場 ☎ 0242-37-1955

県立宮下病院からのお知らせ

「リハビリについて」

県立宮下病院 リハビリ室 横山

4月より赴任しました理学療法士の横山と申します。3月まで福島県ふたば医療センター附属病院でリハビリテーションに従事しておりました。

当院は地域住民に密着した「心ある医療」を基本理念に、皆様から信頼される医療の充実を図り、併せて入院・外来の他に、在宅医療の要である訪問看護も展開し、在宅医療の中心に据えています。当院のリハビリテーションも奥会津の各町村において、お力になれるよう頑張っていきます。

【お問い合わせ】宮下病院 ☎ 0241-52-2321

福島県最低賃金が令和6年10月5日から変わります

時間額 955円

詳しくは、福島労働局労働基準部賃金室（電話 024-536-4604）又は各労働基準監督署へお問い合わせください。

【お問い合わせ】福島労働局 ☎ 024-536-4600（代表）

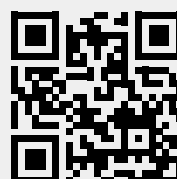
コミュタン福島スタディキャンパス 2024 in Autumn

第8回環境創造シンポジウムとして、ココリコ田中直樹さん、気象予報士斎藤恭紀さんを招いたトークライブやパネルディスカッション、当センターの調査研究について普段入ることができない本館・研究棟にて研究員等との対話・交流を行うオープンキャンパス、五十嵐美樹さんのサイエンスショーなど、ふくしまの環境を考えるイベントを開催します！

●日時：11月3日（日）～4日（月・振） 午前9時～午後5時

●会場：福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」

●参加料：無料



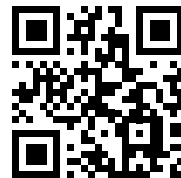
【お問い合わせ】コミュタン福島スタディキャンパス 2024 運営事務局 ☎ 024-983-3498

15 歳～ 49 歳の「就活」を支援します！

「会津地域若者サポートステーション」は、就活において悩みや不安がある方の職業的自立に向けた就労相談窓口です。また、就職決定後もサポートが可能です。ご来所が難しい場合は、オンライン相談・各ハローワークでの出張相談も実施しております。ご利用は無料ですので、お気軽にご相談ください。

●主な支援

個別相談・職場体験・各種講座（エクセル・ワード講座、ビジネスマナー、履歴書作成支援、面談攻略セミナーなど）



【お問い合わせ】会津地域若者サポートステーション ☎ 0242-32-0011

住所：会津若松市大町 2 丁目 1-11 会津伝承館向かい

（月～土曜日 / 午前 9 時～午後 6 時、木曜日 / 午前 9 時～午後 7 時、閉所日 / 日曜、祝祭日）

税の無料相談会のお知らせ

毎年、11 月 11 日から 17 日まで「税を考える週間」として、税に関する様々な活動が行われています。この期間にあわせて、東北税理士会会津若松支部では、「税の無料相談会」を実施します。

相続税、贈与税、土地建物の売却に掛かる税、消費税など、税に関する様々なご質問、ご相談を無料で承りますので、ご利用下さい。

○日時：11 月 11 日（月） 午前 10 時から 12 時まで

○会場：会津アピオ 2 階 研修室

来場に際し、予約の必要はありません。当日、来場された方の来場順にご案内いたします。なお、内容によって順序が前後する場合があります。

【お問い合わせ】東北税理士会会津若松支部 ☎ 0242-62-3129

調停無料相談会のお知らせ

相続・遺産分割、離婚、扶養等家庭内の問題、多重債務、土地・建物の紛争、交通事故による損害賠償等の問題など、困っていることがありましたらお気軽にご相談ください。相談会では裁判所で実際に調停に携わっている調停委員（各分野の専門委員もおります）が相談に当たります。相談内容は外部にもれることはありません。

●日時：11 月 20 日（水） 9:30 ～ 18:00（17:00 受付終了）

●会場：会津若松市文化センター（駐車場は鶴ヶ城体育館東側をご利用下さい）

●費用：無料

●申込：予約不要。当日会場で受付（17:00 まで）

●内容：

- ①民事に関する調停申立（金銭貸借・土地、建物の明け渡し、相隣関係・損害賠償等）
- ②家事に関する調停申立（離婚・子の監護養育・離縁・扶養・相続問題等）

【お問い合わせ】福島地方裁判所会津若松支部庶務課 ☎ 0242-26-5725

〔連載〕 昭和村の歴史と文化
（第21回）

菅家 博昭（大岐）

時代の変化とススキ

9月17日に、村内小野川の渡辺農機店で「博士トネル開通1周年記念フェア」が開催された。新品・中古の農機具の保守・修理・販売をしている同店は、なくてはならない業種の店として地域のなかで活躍をされている。それは必需品になった除雪機や、電動カー（高齢者が乗るセニアカー等）も販売されているからだ。

91歳の父と一緒にフェアに行ってみた。現在、農機具の中古品は価格が高騰している。除雪機も同様だ。それは新品が購入されずに、中古品の利用が進んでいること



とを意味する。新品がどんどん購入されている時代は、下取りした中古品が市場に出回るためである。

会津若松市に8月下旬に、ヤマダ電機が移転開店した。同社は会津若松のゴミ焼却場を運営する。また回収粗大ゴミの再利用（リユース）も行うことになっている。また下取りした白物家電（洗濯機、冷蔵庫）を関東地域にある自社の再生工場で点検補修し、今回開店した新店で「リユース品（中古品）」として販売している。開店時にそれを視察してきた。中古農機具と同じで、価格は安くはないのである。

1983年から草花栽培・山取り出荷をしている。当時は炭焼き・水稻（コメ）・葉たばこ・キノコ栽培・有機栽培（ダイコン、タクアン）に加工して会津若松の個人宅に販売）をしており、20

歳台前半であった。葉たばこ栽培が廃作（1985年）となることから、その主目目は「切り花」に置き換わった。当時はオミナエシ、アスター、グラジオラス、コスモス等と、山取りのススキ等であった。福島県と昭和村

役場が、宿根カスミソウの栽培を勧めるなかで、かすみ草専作に転換していった。ススキの採取・販売は40年継続している。

7月下旬の出穂から採取をはじめ、90cm100本でエルフバケットで出荷している。数年前は月見用として200箱ほど注文があり出荷したこともあった。

今年の月見は9月17日。この時期に出穂とならない地域も多く、奥会津のススキは8月はじめには出穂するため優良な地域資源となっている。

都内大手生花市場では、ススキは70cmから130cm内の長さで、1本30円で山形・茨城・長野・新潟等に依頼をして野から収穫

し出荷を依頼している。ところが、これができる産地・生産者が減少している。

1回（1日）の依頼量が2万から3万本程度になるため、発注単位が多すぎるためだ。40年前は出荷箱の関係から「110cmで1本の穂に葉が3枚付いている」ことが出荷要件（仕様）であったが、現在は穂のみあれば良くなっている。

また葉を売るタカノハススキも畑に根を植えて出荷しているが、これは就農し花に転換した40年前に長野県の種苗会社から段ボール1個分の根を購入して、3度植え替えをして採花・出荷している。これは晩生種で9月10日以降にしか咲かないので、今年の月見には間に合わなかった。

継続出荷していると顧客があり、横箱段ボールで数百本入りの出荷が多いススキで、水付けバケツ出荷（エルフ）商品は、入り本数も100本と少なく40円から55円での販売であった。出

荷量は1回2〜5箱で、週で15箱程度である。今後はタカノハススキの出荷となり9月末まで継続する。

夏の壁があり、9月・10月の出荷品目、量とも少なくなり、9月・10月の草花類は高値になっている。10年前の3倍ほどの値段であるが露地草花の地域における価値に気付く農業者は少ない。「秋冷の花（露地草花）」が、地域の気象環境・自然環境を生かした、「秋は早く来る奥会津」の有利な点である。今年の秋彼岸のキク類は夏の高温で枯れ、あるいは高温抑制で開花が遅れ、通常80円の輪菊（大キク）は180円に高騰した。9月の業務需要（花束加工や会場装飾）は、キク以外にも花の欠品が多かった。



アレクサンドラ 先生の小噺 #10

Alexandra Short Story

Halloween (ハロウィン)



外国語指導助手 アレクサンドラ先生

(原文)

Dear Showa Village, it is finally October! To Halloween be honest I've been eagerly waiting for the fall season to come as I prefer cool weather to hot weather.

In Canada, we have a very special Holiday coming up in October. It is Halloween!

It is so big in Canada that for some people it is their favorite day in the year.

Also, many shops, malls, coffee shops and house are decorated for Halloween. The colours of Halloween are mainly yellow, orange, purple, black and Brown.

In many neighbourhoods there competition for the best decorated house and many people really spend a lot of time and effort on spooky decorations, creating haunted house and dressing their front yard to look like a graveyard.

On Halloween, children dress up in costumes and go door-to-door asking their neighbours for candy. Adults also get into the spirit by dressing up and going to parties.

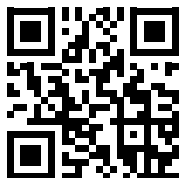
On my last Halloween back home I dressed as a fairy Godmother, my friend dressed as an angel and my Dog was dressed as a dinosaur. It was really fun.

Many kids came to our house and asked for candies!

Please look at the picture bellow!

Until next time!

アレクサンドラ先生が記事の内容を英語で話しています。下記の QR コードからご覧ください。



(日本語訳)

昭和村の皆さん、いよいよ 10 月ですね！私は暑いより涼しい方が好きなので、秋が来るのを心待ちにしていました。

カナダでは 10 月に特別な祝日があります。それはハロウィンです！

カナダではとても盛大な行事で、1 年で 1 番好きな日という人もいます。

また、多くのお店、ショッピングモール、コーヒーショップ、家などがハロウィンの飾り付けをしますハロウィンの色は主に黄色、オレンジ、紫、黒、茶色です。

多くの地域では、最もよく飾り付けられた家を競い合い、お化け屋敷を作ったり、前庭を墓地のように飾ったりと、不気味な飾り付けにたくさんの時間と労力を費やします。

ハロウィンになると、子供たちは仮装して 1 軒 1 軒近所の人にお菓子をねだります。大人も仮装してパーティに出かけたりして盛り上がります。

故郷での最後のハロウィンでは、私は妖精のゴッドマザー、友人は天使、そして私の犬は恐竜の仮装をしました。本当に楽しかったです。

たくさんの子供たちが家に来て、お菓子をねだりました！

下の写真をご覧ください！

それではまた

次回まで！



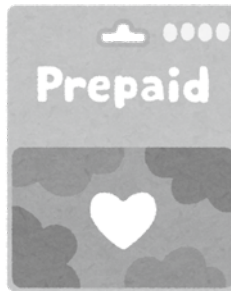


警察署からのお知らせ

電子マネーを悪用した「なりすまし詐欺」が多発！

これらの事例は全て詐欺！！ご注意ください！

- ①パソコンのウイルス感染に関する請求
警告画面で脅かして、偽のサポートセンターへ誘導する。
- ②携帯料金やサイトの未納料金に関する請求
利用料金の未払いを理由に法的措置を取ると脅し、問い合わせ先に連絡させる。
- ③高額当選の受取手数料代
高額な当選金を受け取るためには手数料が必要として支払わせる。
- ④その他、身に覚えのない支払いを電子マネーで請求
 - ・官公庁から税金未納の請求
 - ・コロナ給付金の受取手数料
 - ・何回も電子マネーでの支払いを請求されている など



昭和村内街頭犯罪等発生状況

(令和6年8月末現在)

区分	管内	昭和村
強盗		
空き巣	1	
忍び込み	1	
事務所荒らし		
出店荒らし	5	
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗	6	
自販機ねらい		
車上ねらい		
ひったくり		
部品ねらい	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	14	0
その他刑法犯等	47	0
全刑法犯	61	0

外出する際はしっかり戸締まりをしましょう。また、不審者や不審車両を見かけたらすぐに通報してください。

※その他刑法犯等には、暴行、傷害、万引き、詐欺、器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、令和6年1月1日からの累計数になっています。



消防署からのお知らせ

10月は蜂の季節？



・蜂の活動時期は？

蜂、特にスズメバチの活動最盛期は一般に **7～10月** と言われています。
つまり、この時期は蜂が最も攻撃的になっている時期ということです。
また、ミツバチが攻撃的になる時期も **10月～11月** と言われています。

・蜂に刺されないようにするには？

- ① 白い服を着る…スズメバチは黒い物を目がけて襲ってくる習性があります。
- ② 香水やヘアスプレー等は付けない…蜂は強い匂いに敏感に反応します。
- ③ 屋外でのジュースは危ない…飲料水に寄ってることがあります。

※何より蜂の巣を見つけたら近寄らないようにして下さい！

もし蜂に刺されて体調が悪くなったら、ためらわずにすぐ救急車を！

住宅用火災警報機～正常に鳴るか確認～



引きひもを引く
またはボタンを押す



鳴れば OK!

- ・住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。10年を目安にした交換の検討をお願いいたします。

＋ 10・11月の休日当番医 ＋

10月6日(日) 星医院

☎ 0242-83-2136 (会津坂下町)

13日(日) 金山町国保診療所

☎ 0241-54-2031 (金山町)

14日(月・祝) こばやしファミリークリニック

☎ 0242-55-0388 (会津美里町)

20日(日) 寿松堂渡辺医院

☎ 0242-83-3125 (会津坂下町)

27日(日) 吉川医院

☎ 0242-56-3358 (会津美里町)

11月3日(日) 県立宮下病院

☎ 0241-52-2321 (三島町)

4日(月・振替) 平野医院

☎ 0242-83-2243 (会津坂下町)

◆◆◆ 戸籍の窓口 ◆◆◆

令和6年8月1日～8月31日受付

● お誕生おめでとうございます

今月の届け出はありません

● ご結婚おめでとうございます

今月の届け出はありません

● おくやみ申し上げます

渡部 タキノ さん 98歳 小中津川

齋藤 虎 さん 85歳 喰丸

束原 スミ子 さん 94歳 小中津川

本名 正吉 さん 95歳 下中津川

※戸籍の窓口への掲載を希望されない方は届出の際にお申し出下さい。

◆◆◆ 昭和村の人口 ◆◆◆

令和6年9月1日現在※住民基本台帳人口

人 口	1,098人	(－4)	出 生	0人
男	539人	(－2)	死 亡	4人
女	559人	(－2)	転 入	1人
世 帯 数	613戸	(－2)	転 出	1人

◆◆◆ すみれ荘だより ◆◆◆

* つみきクラブ 毎週水曜日 9:00～11:30
(会場の都合によりお部屋の変更または休止になる場合がありますのでご了承ください)

健康ミニ情報

＜目の健康について＞

10月10日は目の愛護デーです。

日常の情報の80％は視覚から得ていると言われるほど、目は生活する上でも大切な器官です。健診の眼底検査の結果でも多く見られるのが「加齢黄斑変性」です。老化により、目の老廃物を処理する働きが衰え、黄斑部に老廃物が沈着して細胞や組織に異変をきたすとされています。

初期はものがゆがんで見える、中心が見づらい、視界の真ん中が灰色になってかすみ等の症状から進行すると真ん中が真っ暗になって見えなくなります。ただ、片目にのみ症状が出た場合、両目で見て生活に支障がないと、発見が遅れたり放置されたりすることがあります。日頃から、左右それぞれの目の見え方をチェックすることも必要です。

予防のためにできることは、まずは禁煙、次に紫外線を避ける(サングラス等で目を保護する)、そしてバランス良く食事を摂ることです。ビタミンE、C、を含むみかん、大豆、玄米、にんじん、かぼちゃ等、抗酸化酵素を含む牡蠣や海藻等、黄斑を保護する作用のある色素ルテインを含むほうれん草、ケール、ブロッコリー等を積極的に食べましょう。

交通死亡事故ゼロカウンター

昭和村は交通死亡事故ゼロの記録更新中です。

日 目
(9/25時点)

◆◆◆ 今月の納税 ◆◆◆

◎ 村県民税	3期
◎ 国民健康保険税	4期
◎ 後期高齢者医療保険料	3期
◎ 介護保険料	4期

〔納期限：令和6年10月31日〕



広報

しょうわ

2024

10

No.665

発行日：令和6年10月2日
編集・企画：昭和中役場総務課

〒968-0103 福島県大沼郡昭和村大字下津川字中島 652
TEL: 0241-57-2111 / FAX: 0241-57-3044
WEB: https://www.vill.showa.fukushima.jp/

地域のしあわせづくり活動紹介「マイ避難推進講習会」

9月の防災月間にちなんで、昭和村赤十字奉仕団では毎年9月に「防災教室」を開いて防災について学んでいます。今年は、福島県防災士会の鈴木里美氏をお招きして「マイ避難推進講習会」を開催しました。昭和村で起きた過去の災害をふり返し、どんな災害が起きる危険性があるのか、それぞれの地区の危険箇所をハザードマップで確認し、どのような警戒レベルの時に、どんな行動をとるべきかを考える「マイ避難シート」を作り、団員同志で、防災について話し合いました。

日本は自然災害大国ですし、近年では予測を超えた災害も多発しています。自分たちの暮らしを守るために、常日頃から災害に備える【防災の心】を持つことは大切です。

(生活支援コーディネーター：和泉・小林)



みんなで育てる、村LINE公式アカウント

お友達の数が、600人を超えました！たくさんのご登録ありがとうございます！

昭和村

LINE 公式アカウント

LINEで
「昭和村」を
友だち追加



ID: @showavill

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください。

LINEで

昭和村からの
お知らせ

を受け取ろう!!

令和

「令和の米騒動」というフレーズに、多くの買い占めや転売屋が出没したこの数ヶ月。(村内の農家にも直接、米の在庫を確認する問い合わせもあったようですが…) 当村でも無事に新米の季節となりました。今年も地震・猛暑・台風・大雨による災害など、多くの困難を乗り越え、収穫まで辿り着いた全国の農家の皆さまに感謝いたします。

糖質が悪者のように扱われるのにあわせて、ご飯もメニューから排除されがちですが、食事制限が必要な方や、医師の指導があった方はともかく、食パンとのカロリー比較や主食としてのポテンシャルを考えると、やはり食卓から外すことはできません。改めてお米の美味しさを噛みしめる契機にしたいですね。(と)

昭和村民憲章

一、伝えましょう

はた音の響き

一、守りましょう

手技の智恵

一、創りましょう

おいしい水

一、育てましょう

豊かな大地

一、広げましょう

健やかな心と体

一、助け合おう

長寿の里

一、明るい笑顔

みんなの和

皆様からの情報お待ちしております！

広報しょうわでは、皆様からの情報をお待ちしております。お気軽に下記までお寄せ下さい。

役場 総務課 企画創生係

☎ 0241-42-7717

kikakusousei@vill.showa.fukushima.jp